

秋田赤十字乳児院

広報誌 第66号

理 念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん





新ばんび組 完成！



第65号でお知らせしていたばんび組がついに完成しました！（完成したのは9月ですけど…(^-^))

長い長い工事期間を終え、食洗器付きキッチンやたくさん物が入るテレビ棚、院庭へと通じる玄関。トイレにお風呂、洗面台などが設置され、より家庭的な雰囲気のお部屋へと変わりました。

子ども達は新ばんび組に興味津々。キッチンへ行ったり、トイレやお風呂場を探検したり。あちらこちらの棚を開け閉めしたり、カギを開けちゃったりして。

またホールとの間に壁ができたことにより、以前よりお部屋の中が落ち着いた雰囲気になりました。

大人たちは「ここにコンセントあればよかったあ」「この棚に仕切りが欲しい」等々…まああるあるですかね。



自分達の部屋で食器を洗ったりお米を研いだり、洗濯をしてそれを一緒に干したり、そんな日常生活で当たり前のことができるようになって、次の生活の場への“つなぎ”という意味でもとてもプラスになっていると思います。



周りから見えすプライバシーが保たれたお風呂とトイレ。安心安全な環境の中で今日もトイレトレーニング頑張ってます。

お風呂には入浴剤なんか入れちゃったりして(^_-)☆



もうすでに壁にマジックで何かが描かれた痕跡があったりしますが、この部屋でのびのびと育ててくれることを願って今日も養育に奮闘しております。

これからこのお部屋でどんなことをしようか、どんなことができるか子ども職員もわくわくです。



この玄関からたくさんの“楽しい”や“ビックリ”を探しに行こう！

ひよこ組

新年明けましておめでとうございます。ということでひよこ組のかわいい赤ちゃんたちは着物に着替えて記念撮影をしました♡

かわいい姿に癒されながら今年も元気で愛嬌いっぱいの子も達の成長を見守っていきたいと思います。
(大友)



初めて着物を着たよ♡かわいいでしょ♡

ぽんだ組

僕たちにとって、鬼さん、おばけさん、オオカミさん・・・はとーっても怖いけれど、ちょっと気になる存在。

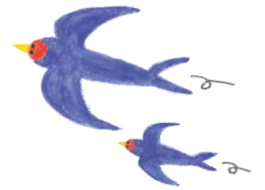
「おにはそと！ふくはうち！」怖くて泣いちゃったけど、元気に豆まき出来ました。すすすす、のびのび、いっぱい食べて強い子になるぞー！
(須賀)



おにさんを退治だ！



保育室ダイアリー



ぼんび組

みんな自分で靴を履いて、さあ神社までレッツゴー！大きい神社を前にドキドキ緊張したけど、“ぱちぱち、ぺこり”と神様にお参りすることができました。

その後は、マクドナルドに行ってお昼ご飯を買ったよ。頑張ったあとのハンバーガーは格別だったね。
(保坂)



大きな声で「アンパンマンのおもちゃくださーい！」

ことり組

女の子5人のことり組さんは一人ひとりが完璧で究極のアイドル。プリキュアや「えいごであそぼ」の曲でノリノリでダンスしたよね。そんなヒーローガールズにも旅立ちのときが近づいています。寂しいけれど解散ライブをしないとね。離れても、ずっと仲良しだよ。
(大島(皇))



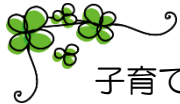
やっぱりステージの上で踊んなきゃね☆

～たくさんのご寄付をいただきました～

昨年11月より、当院ではAmazonの「乳児院支援プログラム」へ参加しております。ありがたいことに、今日に至るまで本当にたくさんの方からご支援をいただきました。

特にクリスマスシーズンは、子どもたちに、と毎日のおもちゃのプレゼントが届きました。新しいおもちゃに、目を輝かせる子どもたち。当院の公式X(旧Twitter)でも都度情報発信しておりましたが、子どもたちと大切にに使わせていただいております。

また、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ移行したことを受け、毎年ハロウィーンの時期にお菓子のご寄付をいただいている「モードヘアフジイ」様に、今年は子どもたちと一緒に、直接お菓子をもらいに行きました。当日は気持ちのいい秋晴れで、仮装して町内を歩くと暖かい言葉をかけていただき近隣住民の方をはじめ、本当にたくさんの方に見守られ、支えていただいていると改めて感じる今日この頃です。乳児院ができる地域貢献の形について、また地域や子育て家庭との「つながり」について、今後も考え続けていきたいと思っています。



子育て支援事業、ついに全事業が再開！

コロナ流行により、受入れを中止していた日中のお預かり保育『デイケア』を2月より再開しました。

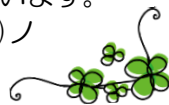
デイケアは、リフレッシュ等の理由でもお預かりが可能です。

他にも、お泊り保育の『ショートステイ』、電話相談の『赤ちゃんほっとダイヤル』、新ママ・パパなどの育児教室『プレママサロン』、保育士が遊びを紹介する『愛あいクラブ』も行っております。是非親子で参加してみませんか？



愛あいクラブ会場の様子

一部、コロナ禍仕様になっている事業もございます。詳しくは、HPをご覧ください('w')



ご報告が遅くなりました

令和4年度の苦情受付件数

1件

運動会行事の際、音響機器のハウリングに対して近隣住民から苦情

編集後記 ～スタッフから一言～

ばんび組が改修され、令和6年度からは定員24名に変更し、全4クラスが小規模グループケア室となります。

定員の変更は、なんと55年ぶりのようです！

定員は減ってしまいますが、そのぶん子どもたちに関わる時間を増やし、子ども一人ひとりへきめ細やかなケアを行う環境が整備されました。

昭和24年の当院発足以降、平成、令和と様々な時代を経て現在に至っておりますが、「今」ここにいる子どもたちの幸せを願い愛情たっぷりの養育をしていくとともに、これからも時代の変化に沿った乳児院の環境を整備できるようにしていきたいな…と、総務目線で固いことを語ってしまいました…

最後に一言！

「子どもたちの笑顔が最高の栄養剤です！」笑
(佐々木(貴))

■編集・発行 秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3

TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762

電話相談 018-884-1761 (8:30~23:00)

ホームページ <http://akita-nyuji.jrc.or.jp/>